

沿岸海洋研究ノート総目次*

第 16 巻 — 第 25 巻 (1978 年 ~ 1988 年)

第16巻第 1 号 (1978年 8 月)

シンポジウム：瀬戸内海の海洋構造

瀬戸内海の物理的・海況要素のシミュレーションについて…大西 行雄, 國司 秀明 1

瀬戸内海における蒸発量について……石崎 廣, 斎藤 実 11

瀬戸内海の海水の光学的特性……………菱田 耕造, 山下 皓一, 竹沢 信 21

備後灘におけるリンの循環……………小山 治行, 遠藤 拓郎, 松田 治 29

瀬戸水域における物質の拡散・集積について……………中田 英昭, 平野 敏行 31

× × ×

三陸沿岸の表面水温の地域的特性—

5 月, 12 月平均水温について……………永田 豊, 桜井仁人, 寺本俊彦, 関野清成, 伊達大喜 43

水深が半径方向に変化する円形海に

おける側壁の境界層について……………藤田 政伸 50

日本沿岸海洋誌 その16: 伊勢湾・

三河湾(Ⅲ) 伊勢湾・三河湾の水質と基礎生産……………西條 八東, 八木 明彦, 三田村緒佐武 57

第16巻第 2 号 (1979年 2 月)

シンポジウム：東京湾の海洋環境—海水,

物質の動きと生物のふるまい

東京湾における流動の特徴……………蓮沼 啓一 67

冬季における東京湾の流況と海況……長島 秀樹, 岡崎 守良 76

東京湾における物質の動き……………坪田 博行 87

東京湾における有機物循環……………小倉 紀雄 92

東京湾の水質 (1972~76) ……………江角比出郎 101

東京湾における基礎生産の現況……………山口 征矢, 柴田 佳明 106

1977年にみられた東京湾の赤潮……………和波 一夫 112

東京湾における微生物群集と環境……関 文威 118

× × ×

瀬戸内海の恒流……………柳 哲雄, 樋口 明生 123

日本沿岸海洋誌 その17: 伊勢湾・

三河湾(Ⅳ) 伊勢・三河湾の生物

群集……………山路 勇 128

第17巻第 1 号 (1979年 8 月)

シンポジウム：北海道の沿岸諸問題

オホーツク海北海道沿岸海域の海況

変動……………青田 昌秋 1

流水のトロコイド運動……………小野 延雄 12

流水と土木……………尾崎 晃, 佐伯 浩 18

流水と生物群……………星合 孝男 25

オホーツク海南西沿岸域の漁場環境

に与える流水の影響……………駒木 成 33

ホタテガイ養殖からみた沿岸海域の

環境収容力……………富士 昭 44

噴火湾の水塊交替について……………大谷 清隆 50

シンポジウム「北海道の沿岸諸問題」 :

のまとめ……………福岡 二郎 60

× × ×

有明海表面水温の季節変化について…宮地 邦明, 永田 豊 61

出水時の沿岸水質……………太田 立男, 嶋 健一 68

日本沿岸海洋誌 その18: 有明海(Ⅰ)

有明海の地形と地質……………鎌田 泰彦 72

第17巻第 2 号 (1980年 2 月)

シンポジウム：沿岸の生物生産と海水交換

海水交換とその素過程について……………宇野木早苗 89

三河湾の夏季の海水交換と窒素の循

環……………佐々木克之, 松村 皐月, 松川 康夫, 鈴木 輝明 99

東京湾とその隣接海域の海洋環境の

微生物学的調査……………清水 潮, 多賀 信夫 108

石垣島川平湾における熱帯性沿岸生

態系と海水交換……………堀越 増興 114

平戸志々伎湾におけるマダイ幼稚仔

の移入過程と海水交換について……田中 克 118

沿岸域における海況変動と漁業生産…小川 嘉彦 131

× × ×

瀬戸内海東部の潮汐・潮流……………柳 哲雄, 樋口 明生 145

* 第 1 巻から第15巻までの総目次は第15巻第 2 号に掲載されています。

シンポジウム：沿岸海域における人工有機化合物汚染		
沿岸水および底質中微量有機物の分析……………古賀 実, 篠原 亮太, 秋山 高	1	
沿岸域および河口域における人工有機化合物の動態……………田辺 信介, 立川 涼	9	
人工有機物質の環境中における移動と変化……………川上 泰, 熊谷 幹郎, 西村 肇	20	
油 臭 魚……………緒方 正名, 三宅与志雄	28	
農薬の沿岸生態系へ影響……………岩田 治郎	47	
界面活性剤の沿岸生態系への影響……………徳田 廣	54	
人工有機化合物による海洋汚染——その現状と課題……………立川 涼	66	
×	×	×
日本沿岸海洋誌 その22：噴火湾（Ⅰ）		
噴火湾の物理環境……………大谷 清隆	68	
第19巻第2号（1982年2月）		
シンポジウム：沿岸海洋に及ぼす外洋の影響について		
伊豆諸島周辺海域における海況変動の総観解析……………中村 保昭	83	
駿河湾海況と黒潮流軸位置との関係…稲葉 栄生	94	
湾内水温の急変現象と外洋条件……………永田 豊	103	
五島灘における潮流—恒流系に関して……………小田巻 実	112	
開放型沿岸海洋の物理的諸問題……………杉本 隆成	121	
接沿岸域から黒潮流域におけるマクロプランクトンの分布について		
一特に黒潮流路に関して……………木立 孝	131	
沿岸回遊性浮魚類の卵・稚仔分布と黒潮……………渡部 泰輔	149	
シンポジウム「沿岸海洋に及ぼす外洋の影響について」……………庄司大太郎		
×	×	×
回転水槽による伊勢湾の恒流模型実験……………岡田 喜裕, 杉森 康宏	165	
地球性渦流による小港湾の海水交換…武岡 英隆, 樋口 明生	175	
日本沿岸海洋誌 その22：噴火湾（Ⅱ）		
噴火湾の化学環境……………米田 義昭	183	
第20巻第1号（1982年8月）		
シンポジウム：瀬戸内海の海洋環境		
瀬戸内海の物質拡散, 分散特性……………上嶋 英機,		

総 目 次

早川 典生	1
瀬戸内海の海況変動特性……………柳 哲雄	12
明石・鳴門海峡を通しての海水交換 の数値実験……………今里 哲久, 淡路 敏之	19
広島湾奥部における赤潮予報研究の 現状……………大内 晟	33
播磨灘における植物プランクトンの 表層分布と海洋環境…遠藤 拓郎, 住田 好史	43
瀬戸内海の夏季成層期の底層環境…………川名吉一郎	53
海水中有機物の季節変動模式からみ た瀬戸内海の海域別富栄養化特性…松田 治, 森 康行	63
瀬戸内海の水質汚濁の経緯と富栄養 化対策……………中西 弘	73
シンポジウム「瀬戸内海の海洋環境」 のまとめ……………川村 雅彦, 遠藤 拓郎, 塩沢 孝之	83
× × ×	
三河湾における溶存有機炭素の季節 変動とその支配要因…田中 庸央, 西野 友彦, 林 雅樹, 丸山 泰男	85
日本沿岸海洋誌 その22: 噴火湾(Ⅲ) 噴火湾の動物群集……………箕田 嵩, 富士 昭	94
第20巻第2号(1983年2月)	
沿岸海洋研究部会創立20周年記念 シンポジウム: 沿岸海洋学各分野の総合 報告と問題点	
物理の面からの沿岸海洋研究……………杉本 隆成	109
化学的手法による沿岸域の研究……………角皆 静男	118
沿岸の海底地質基本図調査研究の現 状……………井上 英二	125
沿岸性赤潮研究の現状と問題点……………飯塚 昭二	137
沿岸海域に関する水産の研究と問題 点……………坂本市太郎	147
沿岸波浪と海浜循環流……………岩田 憲幸	155
海上風と波浪予報……………磯崎 一郎	164
「沿岸海洋研究部会20周年記念講演」 のまとめ……………安井 正	176
× × ×	
浜名湖の海洋環境—湖口地形変化に よる湖内潮汐の経年変化—……………松田 義弘	178
日本沿岸海洋誌 その25: 噴火湾(Ⅳ) 噴火湾の地形・地質…大嶋 和雄, 横田 節哉	189

第21巻第1号(1983年8月)	
シンポジウム: 閉鎖的海盆における循環 と汚染 —鹿児島湾の海洋環境— 鹿児島湾の底質と地形—特に底質か らみた鹿児島湾内の海水の動につ いて……………大木 公彦, 早坂 祥三	1
鹿児島湾の海水循環と水塊の季節変 化……………茶田 正明	11
鹿児島湾における発光細菌分布の季 節変動……………日高 富男	19
鹿児島湾における沿岸および外洋プ ランクトンの分布……………税所 俊郎	29
鹿児島湾魚類の水銀濃縮……………坪田 博行	36
鹿児島湾口を通しての海水流出入……………桜井 仁人	45
シンポジウム「閉鎖海盆における循 環と汚染」のまとめ……………高橋 淳雄	53
× × ×	
潮汐計算における開放端の境界条件 について—単純なモデルをもとに して—……………銭 志春, 永田 豊, 尹 宗煥	55
沿岸域における長周期波動……………久保田雅久	63
第21巻第2号(1984年2月)	
シンポジウム: 潮目, その力学と役割 内部波やラングミュア循環に伴う潮 目……………長島 秀樹	87
流出水の分布形状の理論解析……………都司 嘉宣	98
沿岸海域のフロント……………吉岡 洋	110
沿岸湧昇に伴うフロント……………杉ノ原伸夫	118
黒潮と暖水塊に伴うフロントと漁業…友定 彰	129
物質輸送と潮目……………前田 勝	139
黒潮分枝流のフロント域におけるク ロフィルの生産と集積……………石坂 丞二, 高橋 正征	148
漁場形成に関わる潮目と水塊……………松村 皐月	156
「潮目, その力学と役割」のまとめ……………宇野木早苗	166
× × ×	
沿岸海域の海水交換……………武岡 英隆	169
第22巻第1号(1984年8月)	
シンポジウム: 海峡—海洋学的構造と その及ぼす影響— 津軽暖流の季節・経年変化とその力 学的解釈……………杉本 隆成, 川崎 康寛	1
津軽海峡の潮汐・潮流について……………小田巻 実	12

総 目 次

津軽海峡および隣接海湾に出現する 冷水性動物プランクトンについて…古橋 賢造 23	東シナ海大陸棚斜面の M ₂ 分潮への 影響……………前田 明夫, 山城 徹 1
宗谷暖流域の海況変動……………青田 昌秋 30	海堆上での潮汐流による内部波の生 成機構……………日比谷紀之 6
宗谷海峡周辺におけるスケトウダラ およびホッケの再生産……………佐野 満広 40	豊後水道の Tidal Front……………柳 哲雄, 大庭 哲哉 19
対馬海峡の海況とその変動特性……………俵 悟, 三井田恒博, 藤原 建紀 50	吉野川河口域の河川水—海水境界域 における重金属類の動態……………本田 克久, 浜田 典明, 立川 涼 26
シンポジウム「海峡—海洋学的構造 とその及ぼす影響—」のまとめ……………福岡 二郎 59	沿岸潮汐の数値実験について……………淡路 敏之, 今里 哲久, 佐藤 敏 35
× × ×	地球潮汐の研究からみた沿岸潮汐の 問題点……………田村 良明 49
宿毛湾における水温急変現象の機構……………秋山 秀樹, 柳 哲雄 61	世界海洋潮汐の数値モデリングと日 本近海の潮汐……………寺本 俊彦 60
沿岸境界流……………花輪 公雄 67	総合討論
第22巻第2号(1985年2月)	討論(1) 潮汐・潮流の調和定数 と沿岸海洋物理……………小田巻 実 73
シンポジウム: 沿岸生態系に関わる 物理過程	討論(2) 気象庁における潮汐観 測……………岡田 正実 75
湖沼水質モデル……………大西 行雄 87	シンポジウム「いま, 沿岸の潮汐・ 潮流のなにが問題か?」のまとめ……………柳 哲雄, 今里 哲久 77
内湾の流動場の数値実験……………中田喜三郎, 石川 公敏, 松田 康夫 96	× × ×
赤潮生態系の数値モデル……………岸 道郎, 池田 三郎, 平野 敏行, 西村 陽 109	海洋資料における日平均値の作成に ついて一日平均潮位をあつかう際 の留意点……………花輪 公雄, 三寺 史夫 79
沿岸生態系シミュレーションの残さ れた課題……………西村 肇 119	沿岸海域における栄養塩類の動態……………才野 敏郎 88
河口域における懸濁物質の輸送分布 過程……………伊藤喜代志, 杉本 隆成 128	第23巻第2号(1986年2月)
沿岸生態系における懸濁物質・堆積 物の役割……………坂本 亘 136	シンポジウム: 風に対する沿岸海洋の応答
内湾における懸濁物質・底泥の取扱 い……………塩沢 孝之, 川名吉一郎, 星加 章, 谷本 照己 149	瀬戸内海の通過流と物質輸送に対す る風の効果……………藤原 建紀, 肥後 竹彦 109
シンポジウム「沿岸生態系に関わる 物理過程」のまとめ……………杉本 隆成 157	播磨灘の恒流変動……………柳 哲雄 120
× × ×	但馬沿岸の流れの場の特性……………松山 優治, 名角 辰郎, 高畑 哲男 129
播磨灘・大阪湾の塩分, 窒素, リン 収支……………柳 哲雄, 柴木 秀之, 武岡 英隆 159	沿岸域の風系の構造とその変動—海 陸風系を中心に……………浅井 富雄 139
沿岸海域の係留観測における流速計 特性の相互比較……………國司 秀明, 吉岡 洋, 中村重久, 芹沢重厚, 市川雅史, 森田行司 165	沿岸域における漂流予測の試み……………小田巻 実 148
沿岸生態系における動物プランクト ンの機能的役割……………上 真一 176	短時日吹く風によって生じる沿岸湧 昇……………大谷 清隆 155
第23巻第1号(1985年8月)	総合討論
シンポジウム: いま, 沿岸の潮汐・潮流 のなにが問題か?	討論(1) 風に対する沿岸海洋の 応答—特に生物過程に

目 次

対して……………高橋 正征	166
討論(2) 風の影響を受ける湖岸 の現象について……………村岡 浩爾, 平田 健正, 大坪 国順, 福島 武彦	168
シンポジウム「風に対する沿岸海洋 の応答」のまとめ……………杉本 隆成, 和田 明	171
× × ×	
若狭湾海域内湾部のマクロベントス 相の特徴……………林 勇夫	173
相模川河口干潟の生物相と環境……………石井 優里, 桑原 連	185

第24巻第1号(1986年8月)

シンポジウム：沿岸域利用の高度化と 海洋環境	
水域環境保全、管理のシステム解析……………内藤 正明	1
大量排水にともなう流速分布と海面 昇降について……………渡辺 競, 福尾 義昭	9
海・陸境界面の生態学的諸問題……………栗原 康	21
浚渫土砂の有効活用による海洋環境 の改善について……………藤森 研一, 鈴木 雄二	33
わが国藻場造成の展望……………中谷 茂	40
浮防波堤の形状について……………加藤 重一	53
海洋エネルギーの利用……………石井 進一	60
シンポジウム「沿岸域利用の高度化 と海洋環境」のまとめ……………和田 明, 渡辺 競	70
× × ×	
大阪湾の海水交換率の季節変動……………柳 哲雄	72
海岸工学と沿岸海洋研究の接点(1) 温排水研究の現状と問題点……………和田 明	78

第24巻第2号(1987年2月)

シンポジウム：沿岸海洋観測手法の現状と 今後の課題	
最近のベントス研究手法と問題点……………風呂田利夫	93
画像解析法によるプランクトン研究……………寺崎 誠	99
生物・環境測定法の現状と問題点……………石丸 隆	106
沿岸海域における化学的動態の観測 手法……………前田 勝	114
高濁度河口域における栄養塩の調査 —浮泥によるリン酸塩濃度の緩衝 作用—……………田中 勝久, 浜田 七郎	125
リモートセンシングによる沿岸観測 手法とその問題点……………松村 皐月	134

海水交換の調査法と問題点……………武岡 英隆	145
シンポジウム「沿岸海洋観測手法の 現状と今後の課題」のまとめ……………杉本 隆成, 寺崎 誠, 坂本 亘	156
× × ×	
大阪湾におけるリンの循環—形態別 リンの分布特性—……………城 久	158
宿毛湾における夏季の水温急変現象……………秋山 秀樹, 柳 哲雄, 中田喜三郎	169

第25巻第1号(1987年8月)

シンポジウム：海洋工学の最近の歩み 波浪予測モデルの現状と進歩……………岡田 弘三, 棚橋 輝彦	1
海浜過程及び漂砂研究の最近の進歩……………田中 則男	11
水質のモデル化と適用事例……………楠田 哲也	13
内湾富栄養化問題の周辺—ノリ漁業 との関係—……………河邊 克己	25
21世紀への港湾……………染谷 昭夫	34
漁場における流動環境制御技術の現 状……………乃万 俊文	43
シンポジウム「海洋工学の最近の歩 み」のまとめ……………柳 哲雄, 和田 明	50
× × ×	
マングローブ水域の環境特性—西表 島バンタ湊の水理・水質—……………高谷 晃, 松田 義弘, 佐藤 義夫	52
河口域での懸濁粒子の挙動に関する 数値実験……………柳 哲雄, 磯辺 篤彦	61
瀬戸内海の海水交換時間の基本特性……………藤原 建紀, 肥後 竹彦	67
海岸工学と沿岸海洋研究の接点(Ⅱ) —海浜変形予測研究の現状—……………鹿島 遼一	74

第25巻第2号(1988年2月)

シンポジウム：東京湾の物質循環と 生物環境	
東京湾における基礎生産の変遷……………山口 征矢, 有賀 祐勝	87
東京湾内湾における底棲魚介類の分 布……………清水 誠	96
東京湾における貧酸素水の底生・付 着動物群集に与える影響について……………風呂田利夫	104
東京湾における栄養塩類の循環……………才野 敏郎	114
東京湾への陸源有機物の流入と堆	

総 目 次

積.....石渡 良志 127	× × ×
河川によって運び込まれた物質の湾 内における堆積様式—円形—扇形	大阪湾・播磨灘のC・N・P循環にお けるプランクトンの役割
堆積モデル—.....竹松 伸 134	門谷 茂, 岡市 友利 158
底泥に残された鉛汚染の歴史.....平尾 良光 136	関東・東海地区の主要河川水の流出
東京湾の長周期流れの特性について	状況の航究機観測.....関根 義彦, 木下 章,
.....村上 和男, 森川 雅行 146	松田 靖 165
シンポジウム「東京湾の物質循環と 生物環境」のまとめ.....和田 明,	内部潮汐波の発生・伝播機構.....日比谷紀之 177
前田 勝, 有賀 祐勝 156	村上水軍の潮汐表.....柳 哲雄 191